

授業科目名・形態	精神保健の課題と支援Ⅰ 講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	田中 誠	実務経験の有無	有	開講期	3年前期

【授業の主題】

精神保健では様々なことを学習する。それは精神保健の基本的な知識、ライフサイクルにおける精神保健、精神保健における個別課題への取り組み地域精神保健と地域保健、諸外国における精神保健、関連法規及び施設などが含まれる。受講生は1年かけて精神保健の幅広い取り組みを知り、そこ奥の深さを知ってほしい。

【到達目標】

- 1) 精神保健の重要性と健康や精神保健の定義等についての基本的な考え方を学ぶ
- 2) 現代社会におけるライフサイクルの意味と各ライフステージに関連した精神の問題、現代社会におけるストレスをめぐる問題、生活習慣の変化が身体と精神に及ぼす影響などを理解する。
- 3) 上記の問題に取り組む精神保健福祉士の役割について学ぶ。

【授業計画・内容】

- 第1回 精神保健の概要
- 第2回 現代の精神保健分野の動向
- 第3回 精神保健活動の対象と精神の健康に関する心的態度および生活と嗜好
- 第4回 家族関係における精神保健（出産育児、介護等）
- 第5回 社会的引きこもりをめぐる精神保健および家族関係の課題
- 第6回 グリーフケアおよび精神保健支援を担う機関
- 第7回 精神保健の視点から見た学校教育の課題とアプローチ①
- 第8回 精神保健の視点から見た学校教育の課題とアプローチ②
- 第9回 精神保健の視点から見た勤労者の課題とアプローチ①
- 第10回 精神保健の視点から見た勤労者の課題とアプローチ②
- 第11回 災害被災者の精神保健および犯罪被害者等の支援
- 第12回 自殺予防および身体疾患に伴う精神保健
- 第13回 貧困問題および社会的孤立への精神保健
- 第14回 性的マイノリティと多文化の精神保健
- 第15回 反復違法行為および高齢化の精神保健

【授業実施方法】

基本的には講義形式で行う。

【授業準備】

事前に教科書を読んでおくこと

【主に関連する科目】

「精神科リハビリテーション学」中央法規出版

【教科書等】

「精神保健の課題と支援」中央法規出版

【参考文献】

随時講義の中で紹介する。

【成績評価方法】

筆記試験80%、授業態度20%等で総合的に判断する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

実務経験得た援助場面を想定し、学生に対応を考えてもらう

【学生へのメッセージ】

本講義は社会福祉専門職の視座や役割、行動規範を学習し、今後の講義や演習の基礎となる講義である。積極的かつ情熱的に知識を習得してほしい。